

学校推薦型選抜 解答例 令和5年度

小論文

企業活動などでは、業務改善のために、「計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Action)」という4つの過程からなるサイクルを繰り返すことがある。同サイクルは、各過程を表す英単語の頭文字を取り「PDCAサイクル」と呼ばれる。PDCAサイクルが行われるのは企業活動のみに留まらない。意識しなくとも、私たちの生活においても行われている。例えば：

カレーライスが食べたいので作る(P) → 食材を購入し、料理する(D) → 食べる(C) → おいしくなかったのでレシピサイトで学習する(A) → あるレシピがおいしそうだったので、そのレシピ通りに作る(P) → 食材を購入し、料理する(D) → 食べる(C) → 好みの味では無かったのでレシピサイトで学習する(A) → (以下、好みの味になるまで繰り返す)。

上記を踏まえ、以下の問(1)、問(2)に解答せよ。

問(1) 各自が家庭生活、学校生活、学校の授業などにて体験してきた事柄1つをPDCAサイクルに当てはめると共に、各過程をどの様に繰り返してきたのか、結果はどうであったのかについて日本語で説明せよ。解答用紙の【解答欄 問(1)】の四角で囲まれた領域内に解答せよ。同領域外への解答を禁止する。解答に必要であれば、図・表の使用も可とする。ただし、例示したため、料理に関する解答は不可とする。

(出題の意図)

現時点における以下の能力を評価する。

- ・ 自己の体験を整理し、他人に言葉で伝えることができる。
- ・ 言葉で伝えるにあたり、適切な日本語が使用できる。
- ・ ある事象(本問では「自己の体験」)を類型化することができる。
- ・ 本問題の解答がフリーフォーマット形式であること、解答に使用可能な面積が限られていることを踏まえ、他人が理解しやすいようなレイアウトを意識できる。

問(2) 高等学校で受けてきた授業(受講中を含む)にPDCAサイクルを導入する場合、どの様に導入すると生徒の理解に役立つと考えるかについて日本語を用いて1000字以内(句読点等を含む)で論ぜよ。授業の単なる悪口にならないように注意せよ。生徒としての視点に立った内容で良い(教育的な効果について言及せずとも良い)。解答用紙の【解答欄 問(2)】の原稿用紙部分に解答せよ。

(出題の意図)

現時点における以下の能力を評価する。

- ・ 自分の考えを整理し、他人に言葉で伝えることができる。
- ・ 言葉で伝えるにあたり、適切な日本語が使用できる。
- ・ 字数制限がある中での、文章構成を意識できる。
- ・ 批判力(悪口をいう能力では無い)を持っている。